

TrueType Font 和文書体ライセンス見本

A-1 Corp.



有限会社 エイワン

〒150-0011 東京都渋谷区東1-3-1-702

T.03-6803-1175 F.03-3400-1176

info@zenfont.jp

<http://www.zenfont.jp>

ZEN角ゴシックA L/Zen Kaku Gothic A L/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN角ゴシックA R/Zen Kaku Gothic A R/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN角ゴシックA M/Zen Kaku Gothic A M/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN角ゴシックA B/Zen Kaku Gothic A B/32Q /行4分アキ/ツメ

**春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。**

ZEN角ゴシックA H/Zen Kaku Gothic A H/32Q /行4分アキ/ツメ

**春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。**

ZEN丸ゴシックN L/Zen Maru Gothic N L/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN丸ゴシックN R/Zen Maru Gothic N R/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN丸ゴシックN M/Zen Maru Gothic N M/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN丸ゴシックN B/Zen Maru Gothic N B/32Q /行4分アキ/ツメ

**春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。**

ZEN丸ゴシックN H/Zen Maru Gothic N H/32Q /行4分アキ/ツメ

**春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。**

ZEN角ゴシックN L/Zen Kaku Gothic N L/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN角ゴシックN R/Zen Kaku Gothic N R/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN角ゴシックN M/Zen Kaku Gothic N M/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN角ゴシックN B/Zen Kaku Gothic N B/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN角ゴシックN H/Zen Kaku Gothic N H/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZENオールド明朝N R/Zen Old Mincho N R/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZENオールド明朝N M/Zen Old Mincho N M/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZENオールド明朝N D/Zen Old Mincho N D/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZENオールド明朝N B/Zen Old Mincho N B/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZENオールド明朝N H/Zen Old Mincho N H/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

紅道/Kurenaido/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZENアンチック/Zen Antique/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZENアンチックS/Zen Antique S/32Q /行4分アキ/ツメ

春のある日曜日、1955年の
シャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

ZEN角ゴシック A L / Zen Kaku Gothic A L / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシック A R / Zen Kaku Gothic A R / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシック A M / Zen Kaku Gothic A M / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシック A B / Zen Kaku Gothic A B / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシック A H / Zen Kaku Gothic A H / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN丸ゴシックNL/Zen Maru Gothic NL/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN丸ゴシックNR/Zen Maru Gothic NR/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN丸ゴシックNM/Zen Maru Gothic NM/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN丸ゴシックNB/Zen Maru Gothic NB/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN丸ゴシックNH/Zen Maru Gothic NH/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシック N L / Zen Kaku Gothic N L / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオン・フィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシック N R / Zen Kaku Gothic N R / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオン・フィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシック N M / Zen Kaku Gothic N M / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオン・フィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシック N B / Zen Kaku Gothic N B / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオン・フィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシック N H / Zen Kaku Gothic N H / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオン・フィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENオールド明朝N R / Zen Old Mincho N R / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENオールド明朝N M / Zen Old Mincho N M / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENオールド明朝N D / Zen Old Mincho N D / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENオールド明朝N B / Zen Old Mincho N B / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENオールド明朝N H / Zen Old Mincho N H / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック (Ch.Figeac) を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

紅道/Kurenaido/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENアンチック/Zen Antique/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENアンチックS/Zen Antique S/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシック A L / Zen Kaku Gothic A L / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過こしてまた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィゲアック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルトーニエ河畔に位置するサンテミリオンへのフィゲアックである。

常に一番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうが。

ZEN角ゴシック A R / Zen Kaku Gothic A R / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過こしてまた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィゲアック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルトーニエ河畔に位置するサンテミリオンへのフィゲアックである。

常に一番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうが。

ZEN角ゴシック A M / Zen Kaku Gothic A M / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過こしてまた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィゲアック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルトーニエ河畔に位置するサンテミリオンへのフィゲアックである。

常に一番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうが。

ZEN角ゴシック A B / Zen Kaku Gothic A B / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過こしてまた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィゲアック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルトーニエ河畔に位置するサンテミリオンへのフィゲアックである。

常に一番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうが。

ZEN角ゴシック A H / Zen Kaku Gothic A H / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過こしてまた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィゲアック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルトーニエ河畔に位置するサンテミリオンへのフィゲアックである。

常に一番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうが。

ZEN丸ゴシックN L / Zen Maru Gothic N L / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過こしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルコー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニ河畔に位置するサンテミリオンズのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうが。

ZEN丸ゴシックN R / Zen Maru Gothic N R / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過こしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルコー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニ河畔に位置するサンテミリオンズのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうが。

ZEN丸ゴシックN M / Zen Maru Gothic N M / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過こしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルコー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニ河畔に位置するサンテミリオンズのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうが。

ZEN丸ゴシックN B / Zen Maru Gothic N B / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過こしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルコー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニ河畔に位置するサンテミリオンズのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうが。

ZEN丸ゴシックN H / Zen Maru Gothic N H / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過こしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルコー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニ河畔に位置するサンテミリオンズのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうが。

ZEN角ゴシックNL/Zen Kaku Gothic NL/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ぎしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴ、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニ河畔に位置するサンテミリオンズのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシックNR/Zen Kaku Gothic NR/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ぎしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴ、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニ河畔に位置するサンテミリオンズのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシックNM/Zen Kaku Gothic NM/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ぎしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴ、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニ河畔に位置するサンテミリオンズのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシックNB/Zen Kaku Gothic NB/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ぎしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴ、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニ河畔に位置するサンテミリオンズのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZEN角ゴシックNH/Zen Kaku Gothic NH/20Q, 12Q /行22オクリ/ツメ

過ぎしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴ、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニ河畔に位置するサンテミリオンズのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENオールド明朝N R / Zen Old Mincho N R / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ぎしてきた時間を思いながら、妻と一人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch. Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴ、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENオールド明朝N M / Zen Old Mincho N M / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ぎしてきた時間を思いながら、妻と一人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch. Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴ、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENオールド明朝N D / Zen Old Mincho N D / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ぎしてきた時間を思いながら、妻と一人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch. Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴ、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENオールド明朝N B / Zen Old Mincho N B / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ぎしてきた時間を思いながら、妻と一人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch. Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴ、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENオールド明朝N H / Zen Old Mincho N H / 20Q, 12Q / 行22オクリ / ツメ

過ぎしてきた時間を思いながら、妻と一人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch. Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴ、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

紅蓮／Kurenaido／20Q, 12Q／行22オクリ／ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENアンチック／Zen Antique／20Q, 12Q／行22オクリ／ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。

ZENアンチックS／Zen Antique S／20Q, 12Q／行22オクリ／ツメ

過ごしてきた時間を思いながら、妻と二人で飲んだ。

春のある日曜日、1955年のシャトー・フィジャック(Ch.Figeac)を開けた。

私の生まれた年に収穫されて醸造された赤ワインだ。

ボルドーには偉大なる作り手が多く、特にメドックにはラフィット・ロートシルト、マルゴー、

ラトゥール、ムートン・ロートシルトと第一級の畑がいくつもあるが、

個人的に好むのはそれよりも上流ドルドーニュ河畔に位置するサンテミリオンのフィジャックである。

常に二番目三番目を愛してしまうのも、私だけの少々臍曲がりな嗜好というものだろうか。